

◎「会員だより」

4月号の「学ぶ・つなぐ・広げる」を読んで、若い職員への声掛けやきめ細かい指導により大勢の合格者を出す仕組み作りをされている新潟県の技術士会の取組みは素晴らしいと思いました。他の機関でも技術力向上のために工夫して取り組んでいるような活動を紹介していただきたいです。

匿名希望（市町村勤務、51）

4月号の「特集」の「技術の伝承・技術力の向上にむけて」は、筆者の藤本氏の30数年にわたる公務員生活について、年代別に書かれており、年齢とともにその責任も重くなっていく当時の心境や、その時に得た教訓などが書かれていて大変勉強になり、感慨深く拝読しました。

菊地晃司（市町村勤務、26）

当県においても、現場に出る機会が減少し、若手職員の技術力向上が大きな課題となっています。4月号の「特集」で浜松市の「経験豊富な職員による技術継承研修」は、ベテラン職員から若手職員へ、どのように技術力をつないでいくかを考える上で大変参考になりました。

匿名希望（都道府県勤務、55）

コロナ禍における研修の在り方について悩んでいました。4月号の「特集」の「NEXCO西日本の技術者育成への取組み」を読んで、eラーニングの導入やオンラインによる社内業務研修など、多様な育成制度を知ることができて有意義でした。

匿名希望（高速道路株式会社勤務、45）

普段は目の前の仕事に追われ、公務員技術者として何が大事なかが分からなくなる時があります。4月号の「特集」の「聞く力・伝える力と技術力」で筆者の長尾技術調査官の経験に基づく若手へのメッセージを読み、意識を高めて仕事に邁進しようと思いました。

匿名希望（都道府県勤務、38）

4月号の「特集（技術の伝承・技術力の向上に向けて）」を読んで、自分も中堅と呼ばれる立場になり、先輩方から学ばせてもらったことがちゃんと身になっているか、また下の世代が見習いたいと思えるような仕事ができているかを振り返る良い機会となりました。

匿名希望（都道府県勤務、40）

4月号の「上徳不徳」を拝読しました。コロナ禍を経験して、財政再建至上主義に冒されてきた日本の凋落が明らかになったことや、積極的に財政出動を行おうとしている諸外国とそうでない日本との違いが明快に述べられていると思いました。

匿名希望（市町村勤務、59）

4月号の「公務員技術者の訴訟リスク」を拝読しました。訴訟を起こすのは、直接的に被害を被った業者や住民だけでなく、行政機関に厳しい目を向ける住民もいることを認識する必要があります。それに加えて、今回の事例では、繰越に対する発注者側の認識にも課題があると思いました。

福野幸蔵（市町村勤務、58）

月刊「建設」で連載されている「基礎から学ぶインフラ講座」は、経験したことがない分野についても理解できるように書かれています。水道事業に携わったことはありませんでしたが、4月号の「基礎から学ぶ水道事業」を読んで、大変勉強になりました。

匿名希望（都道府県勤務、45）

4月号の「会計検査情報」は、既設アンカーボルトの耐震設計計算を行わなかった事例でした。通常、工事の竣工検査では、工事の範囲とそれ以外を明確に分けて検査を行います。たとえば工事の範囲外であっても一体として機能するものについては竣工検査の範囲内としてチェックしなければならないということが今回の教訓だと思いました。

匿名希望（市町村勤務、58）

5月号の「特集（地域活性化の推進）」は、大変タイムリーなテーマだと感じました。コロナ禍で移動・観光の絶対数が減少する中、私たちはインフラを整備し、その公共問題を解決するというハード的、ミクロ的な面に目が行きがちです。しかし、個々のインフラだけでなく、地域トータルのインフラ整備と、それによるソフト的、マクロ的な地域活性化が大変重要であると痛感しています。

匿名希望（市町村勤務、33）

5月号の「諸外国のインフラ情報」を読むと、バイデン政権のインフラ投資額及びコロナウイルス対策額ともに我が国とは桁違いということがわかります。我が国は本当にこれでよいのか不安を感じてしまいました。

匿名希望（都道府県勤務、50）

4、5月号で掲載していただいた「技術資格取得のすすめ」では、資格試験の日程や内容などがまとめて把握できて助かりました。職場でも好評です。

匿名希望（都道府県勤務、40）

5月号の「技術資格試験合格体験記」を拝読し、自分もあれこれ考えず、とにかく一度技術士を受験してみよう！と思い至りました。ありがとうございました。

匿名希望（地方整備局勤務、41）

5月号の「学ぶ・つなぐ・広げる」に掲載されていた香川県女性土木職員の意見交換会の取組を読んで、個々の悩みの相談や共感、情報交換などができ、女性が安心して継続的に働ける職場づくりであり、とても良い取組だと思いました。

匿名希望（市町村勤務、56）

5月号の「ひろば」の「～鉄道から道路へ～押角トンネルが完成」は、既存ストックの有効活用を図っている事例として大変興味深く読みました。記事には書かれていませんでしたが、JRとの調整事項も数多くあり、ご苦労があったことと思います。

匿名希望（都道府県勤務、53）

月刊「建設」で連載されている「基礎から学ぶインフラ講座」は、基本的な事項が各分野ごとにまとめられているので書籍化を希望していました。今回出版された本は、自分自身の手持ち資料とするとともに部下にも薦めようと思います。

匿名希望（地方整備局勤務、51）

大石会長のラジオ番組「ラジオ国土学入門」を毎回聞いておりましたが、終了となり残念です。会長のお話は、我々自治体の技術職員にとっても視野を広げることができ、ありがたく拝聴しておりました。

小林英俊（市町村勤務、58）

◎「会員だより」の投稿を募集

月刊「建設」に関する意見・感想・要望、その他の全建活動（建設技術講習会、伝承プロジェクト、公務員賠償責任保険等）に関する意見・感想・要望、業務上の悩み等をお寄せください。お寄せいただいた意見等は、今後の編集等の参考にさせていただきます。月刊「建設」の「会員だより」に掲載させていただいた場合は、クオカードを進呈いたします。詳細は全建HP上のバナーをクリックするか、下記のQRコードを読み取ってください。たくさんのご応募をお待ちしております。

一般社団法人全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL：03-3585-4546 / E-mail：kensetsu@zenken.com

